

1 液水系反応硬化形エマルジョン塗料

水系ファインコート

艶消し仕上げ

1. 安全性

シックハウス症候群の原因物質となる成分は極めて少なく、低 VOC のため、内装に安心してご使用いただけます。匂いも気になりません。

2. ヤニ止め効果

緻密な塗膜はヤニ止め効果があり、下地からの染み出しによる内装の黄ばみを防ぎます。

3. 隠ぺい力

高隠ぺい性（とまり）で下地の汚れをキレイに隠せます。
艶消しの落ち着いた仕上がりは内装に最適です。

4. 汚染除去性

塗膜が硬いので汚れが付きづらく付着しても簡単に拭き取れます。

5. 密着性・透湿性

ビニルクロス・軒天などにも密着性に優れ、幅広い下地に適応します。
透湿性にも優れているので膨れや剥がれを防ぎます。

6. 防藻防カビ性

藻やカビの発生を抑え、美観や健康を守ります。

7. 工期短縮

下塗りが不要なため、工期短縮が可能です。 ※下地の状況により下塗りが必要な場合もあります。

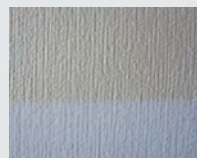
●ヤニ止め効果について

注意事項

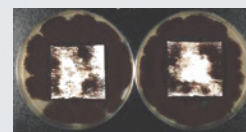
- ・タバコのヤニはウエスなどで水拭きし、十分乾燥させてください。
- ・著しいヤニヤシミ、施工環境条件により効果が出ない場合は、下塗材「シミナイト」をご使用ください。

ヤニ止め可能な目安

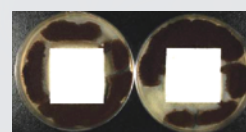
- ・右記色までのヤニに対応可能
(※状態・条件によりヤニが止まらない場合があります。)



●防カビ性試験結果



▲一般的な艶消し塗料



▲水系ファインコート

JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンペイント 1 種
試験結果

項目		品質	結果
容器の中での状態		かき混ぜたとき、堅い塊がなくて、一様になるものとする。	合格
塗装作業性		2回塗りで、塗装作業性に支障があつてはならない。	合格
低温安定性 (-5℃)		変質してはならない。	合格
乾燥時間	標準状態	2時間以内	合格
	5℃	4時間以内	合格
塗膜の外観		塗膜の外観が正常であるものとする。	合格
隠ぺい率。% (白及び淡彩)		93以上	合格
耐水性		96時間浸漬したとき異常がないものとする。	合格
耐アルカリ性		48時間浸漬したとき異常がないものとする。	合格
耐洗浄性		500回の洗浄に耐えるものとする。	合格
促進耐候性		白亜化の等級は1以下で、膨れ、剥がれ及び割れが無く、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。	合格
屋外曝露耐候性		12ヶ月の試験で、膨れ、剥がれ及び割れが無く、色の変化と白亜化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。	合格



●さらに汚染除去性に優れている「水系ファインコートEP-Si」もございます。

製品一覧

	製品名	一般名称	艶
上塗材	水系ファインコート	1 液水系反応硬化形エマルション塗料	艶消し

標準施工仕様書

工 程	材料・調合	施工用具	塗回数	間隔時間 (23℃)	所要量 (塗付量)
素地調整	・ゴミ、油脂分などの付着物はワイヤーブラシ、かわすき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面としてください。 ・内部において穴埋め、平滑処理が必要な場合はパテ処理を行ってください。				
研磨紙すり	研磨紙 #150 ～ 240				
上塗り	水系ファインコート 主材：16kg 清水：0.3～1.3L	はけ、ローラー エアレスプレー	2	工程内 2 時間以上	53～66 m ² /16kg 0.24～0.30kg/ m ² (0.15 ～ 0.20kg/ m ²)

注)・上記の各数値は、全て標準のものです。施工方法、施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。
・下地の劣化や吸込みが著しい場合は下塗りとして「キクスイプライマースーパーE」などをご使用ください。
・ヤニ、シミが著しい場合は下塗りとして「シミナイト」をご使用ください。
・下地の種類によって下塗りが必要な場合があります。詳しくは最寄の各営業所へお問い合わせください。

※内装制限のある部位を施工する場合は、塗付量を厳守してください。

適 応 下 地

モルタル、コンクリート、PC 板、スレート板、石膏ボード、
各種旧塗膜等

荷 姿

水系ファインコート
1 6 kg ／缶
4 kg ／缶

用 途

平滑面（内外部）、旧塗膜面

注 意 事 項	
【施工上の注意事項】 ○下地がコンクリート、モルタルの場合は、下地の乾燥を十分行ない、含水率10%以下、pH10以下で施工してください。 ○汚染物の除去は水を含ませた清潔な布で拭き取り後、乾いた布で乾拭きして乾燥させて下さい。汚れがひどい場合は水で中性洗剤を薄めて拭き取ってください。 ○かびや藻が発生している場合は、塩素系漂白殺菌剤「KSクリーナー」などで殺菌洗浄を行ってください。 ○ヤニ、シミが著しい場合は水拭き後、下塗りとして水系シミ止め白色下塗材「シミナイト」を使用してヤニ止めを行った後上塗りを行ってください。 ○コンクリート下地の旧塗膜の劣化が著しい場合や吸込みの著しい場合は、劣化塗膜を除去した後、「キクスイ浸透性プライマーE」や「キクスイSP/パワーシーラー」を使用してください。 ○押出成形セメント板、GRC板、ケイ酸カルシウム板などには、下塗りとして「キクスイSP/パワーシーラー」や「キクスイプライマーEPW」を使用してください。 ○ALCやコンクリートなどで集束、段差などがある場合は、セメント系下地調整塗材BR#15 等で処理してください。 ○布クロス、紙クロス、汚染防止加工されたクロスには塗装しないでください。剥離を起こす場合があります。 ○プラスターボードなど「テカリ」部とそれ以外の面で吸込み性の違いで色むらなど仕上がりに影響が出る恐れがありますので、下塗りを塗装して均一状態にしてください。 ○ドアのゴムパッキン、塩ビクロスなど可塑剤を含むものやシーリング材への塗装は塗膜の汚染、剥離などが起こる場合がありますので塗装しないでください。 ○下地が弾性系塗膜の場合には、弾性系上塗材を使用してください。 ○塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合、(高湿度、結露、降雨等) 塗膜表面が白化する場合があります。施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上又は結露の発生が考えられるなど、水分の影響を受ける可能性がある場合は、施工を行わないでください。また、低温又は高湿度時は、乾燥が遅くなりますので施工を行わないでください。 ○外部の施工(降雨、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を行わないでください。 ○絶えず結露が発生するような部位、場所への塗装はしないでください。 ○施工時は換気を十分にしてください。 ○施工面とその周辺(車や付帯設備を含む) や床などに汚染や損傷を与えないように注意し、必要に応じて、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行ってください。 ○材料は均一にミキサーで攪拌してから使用してください。 ○材料の希釈量は所定の量により、所定の所要量を守り事前の試験塗りなどで決定してください。希釈の過多、不足はタレや隠れ、不足、仕上がりムラの原因になります。 ○各種標準施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工し、適正な塗付量を確保してください。 ○色、模様・決定に当たっては事前に見本板を確認してください。 ○被塗物の形状、膜厚、塗回数、希釈量などの違いにより実際のつやと異なって見える場合があります。また、刷毛・ローラー塗装時の塗布き面所でも起こる場合があります。特に艶調整品は、被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間等により、実際の艶と若干違ってくる場合がありますので、試し塗りの上、本施工してください。 ○既存塗膜の剥離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。 ○ローラー塗りの場合は、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが異なって見えることがあります。 ○傷などで補修が必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを取っておき、同一塗料、同ロット、同一方法で補修してください。 ○他の材料と混合して使用しないでください。 ○上塗りのローラー塗装において、綿毛のローラーで水系塗料を塗装し泡が発生した場合は、糸毛のローラーを使用してください。 ○使用後は刷毛やローラーなどは十分に洗浄してください。 ○溶剤系の製品を取り扱う場合には、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。	○つや調整品は、はけ、ローラーでの塗装はムラが出やすくなります。スプレー塗装をお勧めします。 ○つや調整品は、塗料が分離しやすいので、良くミキサーで混ぜながらご使用ください。 ○刷毛塗りとローラー塗り、スプレー塗りが混在する場合、施工方法の違いで若干の色相差が生じます。希釈量を調整するなどして塗装してください。 ○濃色や原色に近い色彩では塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などに触れる可能性のある部位への施工は行わないでください。施工する場合は、クレーヤーによる保護塗装を行ってください。 ○上塗りに黄色、赤色、青色、緑系の彩度の高い色を塗装する場合、隠れ性が不足する場合がありますのであらかじめ中塗りとして共色を塗装してください。 ○水性塗料には動物毛の刷毛は固まり塗装に支障が出ますので化繊の刷毛を使用してください。 ○希釈した材料を後日使用すると、色相が変わる場合があります。希釈した材料は、その日のうちに使い切るようにしてください。 ○防藻、防カビ効果は、繁殖を抑制するものです。施工部位の形状、構造、環境条件によっては防藻、防カビ効果が十分に発揮されない場合があります。また、すでにカビ、藻が繁殖している場合は、下地処理として除去及び殺菌処理を行ってください。 ○直射日光下や屋外、0℃以下での保管はしないでください。 ○建築用仕上塗材 (JS A 6909) 複層塗材および可とう形改修塗材は、下塗材・主材・上塗材を同一メーカーの指定された製品を使用しないと、JIS規格品とはなりません。 【安全衛生上の注意事項】 ●製品の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS(安全データシート:JISMSDS)を参照してください。 ●取扱い後は手洗い、うがいを十分にこなしてください。 ●適切な保護手袋、保護眼鏡、防毒・防塵マスクなどを着用してください。 ●火花を発生しない工具を使用してください。 ●屋外または換気の良い場所でのみとし、火気厳禁にしてください。 ●必要時間以外には、環境への放出を避けてください。 ●製品の混ぜ合わせは、防塵型ミキサーにて行ってください。また、必ずアースを取ってください。 ●火災時は、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。 ●目に入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。 ●誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。 ●エポキシ樹脂系の材料は、皮膚にこぶれを引き起こす恐れがあります。皮膚に付着しないよう特に注意してください。 ●皮膚についた場合は、多量の水と石鹸で洗ってください。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断を受けてください。 ●粉じん、揮発物等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。 ●保管場所、取り扱い場所とその周辺には、塗装中、乾燥中、熱、火花、高温体のような発火源を遠ざけ火気厳禁としてください。取扱い後は、法令に沿って保管を行い、特に乾燥中は蒸発の面積が広くなるため、短期間に引火性の高い蒸気が発生します。注意してください。 ●合成樹脂などの電気絶縁性の床で材料の保管や取り扱いをしないでください。また、導電靴や帯電防止の服を着用してください。 ●子供の手の届かない所に保管してください。 ●塗料や塗料の付いた布などを処分する際は、法令に従い産業廃棄物として処理してください。 ●塗料、塗装器具を洗浄した汚水、塗料の付いた布などはそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。



菊水化学工業株式会社

本社／名古屋市中区錦2丁目19番25号 日本生命広小路ビル
☎052-300-2222(代)

ホームページ▶ <http://www.kikusui-chem.co.jp/>



仙台支店 ☎ 022-706-5710
東京支店 ☎ 03-3981-2500
名古屋支店 ☎ 0568-69-5200

関西支店 ☎ 06-7668-5320
福岡支店 ☎ 092-935-4610